

各 位

**AI運用モデルとYahoo! JAPANのマルチビッグデータを活用した
「Yjamプラス!」、11月28日より募集開始（予定）**

URL：<http://feature.finance.yahoo.co.jp/promotion/funds/yjamplus.html>

当社は、株式会社Magne-Max Capital Management（以下、MMC ※1）が開発する人工知能（AI）運用モデルとヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN ※2）のビッグデータを活用した「Yjamプラス!（ワイジャムプラス）」の有価証券届出書を本日、関東財務局長宛に提出いたしました。募集開始は11月28日（月）を予定しております。ふくおかフィナンシャルグループの株式会社福岡銀行、株式会社熊本銀行、株式会社親和銀行、ふくおか証券株式会社での取扱いを皮切りに、販路を順次拡大していきたいと考えております。

1.背景

昨今、NISA制度の導入など政府によって“貯蓄から投資へ”の流れを促す取り組みが行われています。一方で、日本の個人金融資産約1,746兆円のうち、約半数以上の52.7%が現金・預金で占められており（※3）、米国と比較してもその比率が高く、お金を運用することに抵抗のある方がまだ多いと考えられます。

このような実態を背景に、中長期視点でメリットのある投資信託を提供していくことで、投資経験者だけでなく投資未経験者の方にも“おカネに働いてもらう楽しさを知ってもらいたい”と考え、低コスト（※4）で資産形成をサポートする当ファンドを開発いたしました。

2.概要

「Yjamプラス!」は、運用に特化した人工知能（AI）モデルとYahoo! JAPANが保有するビッグデータを活用する商品です。国内外の金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。投資家の資産形成を全力でバックアップするために、ご負担いただく信託報酬は同種の投資信託と比べて低水準に設定しています（※4）。

まずはふくおかフィナンシャルグループ傘下の3行、1社で、11月28日（月）より購入申込みの受付を開始し、12月20日（火）から運用を始めます。今後はさらに販路を拡大していきたいと考えています。

3.特長

(1) 最先端の研究者集団によるAI運用モデル

金融市場における人工知能領域の権威、岡田克彦氏が代表を務めるMMCが開発したAI運用モデルを活用します。運用モデルの最大の特長は市場の歪み（マーケットアノマリー）を探索することです。当面の主な戦略モデルの一つは、すでに目立っている今のスター銘柄ではなく、将来のスター銘柄を発掘する「スター発掘モデル（Event Driven Attention Screening Model）」です。将来のスター銘柄とは、アナリスト評価の変更や株主還元策の発表などのイベントによって投資家の注目度が大きく高まり、今後の株価の上昇が高い確度で期待できる銘柄をさします。主な戦略モデルのもう一つは、人だけでなく株にもあるモテ期（株価上昇期）を確率的に推定する「確率的モテ期予測モデル（Probabilistic Period Mining Model）」です。当戦略モデルは、株価の季節性に着目したものとなっています。

(2) Yahoo! JAPANが保有するマルチビッグデータ

人工知能の力を最大化させるためには、解析対象となるビッグデータとその演算処理を支える高性能なコンピューター環境が不可欠です。当ファンドでは、前述の優れたAI運用モデルの力を最大化させるために、日本最大級の金融情報総合サイト「Yahoo!ファイナンス」のデータなどを含む、月間700億ページビューを誇るポータルサイトYahoo! JAPANが保有するビッグデータ、および高性能なコンピューター環境を活用します。

Yahoo! JAPANのマルチビッグデータを、AI運用モデルが24時間365日休むことなく解析し学習を続けることで、市場の歪みを発見し適切な投資判断につなげてくれると期待しています。

■ご参考：AIの金融応用について（動画、講師：岡田克彦氏）

<ダイジェスト版>

URL：https://youtu.be/04V_Ii9S_4

<完全版>

URL：https://youtu.be/A_WbLQIkSrE

※1 Yahoo! JAPANが議決権比率ベースで70%を出資する投資顧問会社です。当ファンドでは当社に運用助言を行います。

※2 Yahoo! JAPANは今年10月に当社の株式を33.4%取得しました。

※3 2016年9月28日発表 日本銀行「資金循環統計」（2016年第2四半期）

<https://www.boj.or.jp/statistics/sj/sjexp.pdf>

※4 「Yjamプラス！」で投資家が負担する信託報酬は年0.9936%（税込み）と、株式を主要投資対象とするアクティブ運用型投資信託の中で、相対的に低い水準に抑えてあります。

<本件に関するお問い合わせ先>

アストマックス投信投資顧問株式会社（受付時間：営業日の9：00～17：00）

電話：03-5447-8434 FAX：03-5447-8426

メールアドレス：info@astmaxam.com



商号等：アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会／日本商品投資顧問業協会

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成したものです。当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりあらかじめ又は同時にお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容等を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。当ファンドは、主として株式など値動きのある有価証券等（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。当ファンドの基準価額の変動要因は「株価変動リスク」、「株式先物取引による運用に伴うリスク」、「信用リスク」等です。

■お客様に直接ご負担いただく費用

| | |
|---------|---|
| 購入時の手数料 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <u>3.24% (税抜3.0%)</u> を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。 購入時手数料は、購入時の商品および投資環境に関する説明や情報提供、事務手続き等の対価として販売会社にお支払いいただきます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

■保有期間中に間接的にご負担いただく費用

| 運用管理費用 (信託報酬) | 信託財産の純資産総額に年 <u>0.9936% (税抜年0.92%)</u> の率を乗じて得た額です。 委託会社、販売会社、受託会社間の配分および役務の内容については次の通りです。 | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|----------|---------|-------|------|--------|----------|------|--------|---|------|--------|-------------------------|
| | | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>配分 (税抜)</th> <th>役務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>年0.42%</td> <td>資金の運用の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年0.45%</td> <td>運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年0.05%</td> <td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価</td> </tr> </tbody> </table> | | 配分 (税抜) | 役務の内容 | 委託会社 | 年0.42% | 資金の運用の対価 | 販売会社 | 年0.45% | 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 | 受託会社 | 年0.05% | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価 |
| | | 配分 (税抜) | 役務の内容 | | | | | | | | | | | |
| | 委託会社 | 年0.42% | 資金の運用の対価 | | | | | | | | | | | |
| 販売会社 | 年0.45% | 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 | | | | | | | | | | | | |
| 受託会社 | 年0.05% | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価 | | | | | | | | | | | | |
| 上記の信託報酬の総額は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。 | | | | | | | | | | | | | | |
| その他の費用・ 手数料 | <p>① 法定開示に係る費用、公告に係る費用、信託財産の監査に係る費用、法律顧問、税務顧問に対する報酬等は、信託報酬の支払いと同一の時期に信託財産中から支払われます。</p> <p>② 有価証券売買時の売買委託手数料、借入金の利息、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がお客様の保有期間中、その都度信託財産中から支払われます。</p> <p>※ 上記①および②の費用等については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p> | | | | | | | | | | | | | |

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
費用の詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。